

# 旅立ち

大切な第一歩を共に



四季のある国日本では夏も過ぎ、この時期になると樹木の緑も深くなりいよいよ豊富な色彩を見せる紅葉・黄葉の美しい時が訪れます。

この四月には新しい第6期の奨学生13名が加わり、それぞれの専門分野で研究を始めています。

また、五月には福島県伊達市で地元のいちごを使用した6次産業化の紹介やお菓子作りを開催して、多くの方々が参加して下さいました。

今後とも奨学生の支援とともに、地域復興の活動を積極的に行ってまいります。

2023年9月吉日

代表理事 黒澤 厚

## 地域復興支援事業

### 【第6回菓子セミナー実施】

過去5回お菓子作りセミナーを開催致しました。第6回目となる今回は、従来の体験型セミナーに加え、実際の生産者の現場を体験・見学する6次産業化体験を新たに実施。5月13日(土)に松葉園様のご協力を頂き、いちごハウス及び加工場の見学をした後、採れたてのいちごを使ったお菓子作りセミナー(ロイヤルホテルほていや)を開催致しました。

今回も日本菓子専門学校 酒井先生を講師にお招きし、計27名の方がご参加。いちごを使った「皿盛りデザート・イチゴ祭り」や「サラミ フレーズ」などアイディアに富んだお菓子作りの実演及び試食を行い、ご参加頂きました方々からも好評のコメントを頂戴することが出来ました。なお、参加者のうち約2割は伊達市外からのご参加、約7割が過去のセミナーにもご参加いただいたリピーターのお客様でした。

### 【参加者様からのコメント】

- 生産・加工から販売までの流れ、お菓子作りを全て学べて良い経験となりました。
- 初めて参加しましたが、地元伊達の果物をどうにかして全国・全世界へもっともっと…!農家の皆さんの熱意を強く感じました。食育の大切さ、生産者の想いを感じながら味わいたいと思いました。

### 【株式会社松葉園/大橋社長からのコメント】

- この度は、弊社の加工品を使用して頂きありがとうございました。また今回の菓子作りセミナーでは、いちご本来の味を活かし、全てのお菓子が美味しかったです。改めていちごに秘めた可能性は無限大だと再認識いたしました。ありがとうございました。



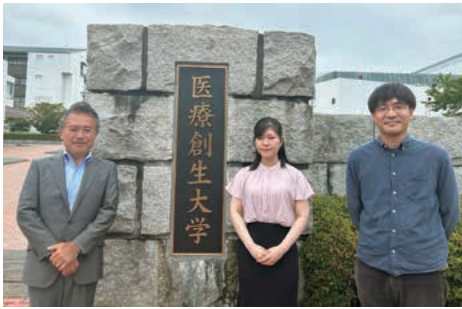
福島民報新聞 5月19日 朝刊



酒井先生/大橋社長/須田市長/嶋崎理事

# 奨学生訪問 第一弾

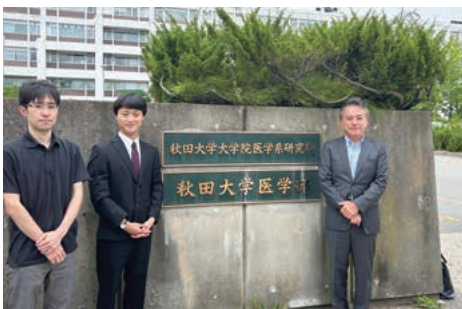
第6期奨学生と第5期奨学生訪問の様子をご紹介します。  
次号以降、北海道・宮城・福島の奨学生訪問状況を報告します。



飯田 りな様 [第6期生]  
医療創生大学心理学部臨床心理学科(中)  
高田 治樹様 [専任講師(右)]

現在は国家資格取得を目指し、大学院進学を志望中。

いろいろな学問分野の奨学生をみると「仲間」に思える。現在、国家資格である公認心理士の受験資格を得るため、大学院進学を目標に学業に励んでいる。クロサワ育成財団の同窓生たちとお会いできる機会があれば刺激にもなり、身近な学生へも広めていけたらと思う。昼夜掛け持ちで働かなければ学費が工面できない状況で投げやりな気持ちにもなりかけたが、勉強したい気持ちが強かった。ご支援いただいたことで、自分のことを期待して見てくれている人たちがいると知ることができた。経済的支援よりも大切なものをいただいたと感じている。



中島 悠斗様 [第6期生]  
秋田大学医学部医学科(中央)  
高橋 和平様 [学務課医学科担当(左)]

将来の目標は「総合診療科」、患者を取り巻く様々な環境に踏み込む領域。医師不足に苦しむ地域や、医療格差に苦しむ患者に寄り添いたい。

もともと志望している総合診療科は地域のかかりつけ医のような立ち位置であり、病気だけではなく患者の社会的状況、家族関係など多様な面からより踏み込み解決する考え方の領域である。自身の家庭環境の苦勞もあり、金銭的な面で医療を受けることができない人に寄り添っていきたくと志望している。地元である新潟も医師不足が深刻であるので必要な医療を受けられない人が多い。そういった地域に貢献していけるようになりたい。



金澤 海斗様 [第5期生]  
岩手大学総合科学研究科地域創生専攻修士課程(中央左)  
石村 学志様 [准教授(左)]

海外留学を経験し、研究職として働いていく将来を検討したい。日本漁業はどうあるべきか。

将来的には研究を続けていきたい。研究対象もメインは地元(宮古)をという気持ちは変わっておらず、やれるところまで突き詰めてやりたい。

昨年の夏に水産庁の研究機関にて国際会議の対応等で実際に働き、高い評価をいただいた。(国際交渉の土台となるデータについて数理モデルを用いて作成。)

大学院では使わない技術を習得してレポートを完成させるために必死だった。

- 内閣府国際広報誌『KIZUNA』に石村准教授、金澤さんが掲載されています。  
『The Unknown Strong and Waste-Free Fishing Industry of Iwate』  
(2023.2.20)

【第8回】

今年3月に岩手大学大学院を卒業し、4月からは鳥獣被害対策に従事されている第5期奨学生の福島良樹さんからメッセージをいただきました。

博士課程の3年間では、都市部に生息するハクビシンの生態をテーマに研究していました。既往研究が少なく謎が多いテーマだったため、調査すればするほど面白い発見と新たな疑問に出会えました。しかし、それと同時に多様なトラブルにも見舞われ、調査だけでなくそれらの対応にも追われる毎日でした。このような予定を立てにくい研究生活だったため、クロサワ育成財団様の奨学金は非常に心強い存在でした。お陰様で、無事に3年間で博士号を取得し修了できました。改めて御礼申し上げます。

在学中にできた縁もあり、現在は岩手県大槌町で地域おこし協力隊として鳥獣被害対策に取り組んでいます。毎日のようにクマやシカが人里に出没するこの町は鳥獣被害対策に携わる上で非常にやり甲斐があり、どのような対策をすれば人間と動物の軋轢が減るかを日々模索しています。現在はシカ被害を少しでも減らせるよう、電気柵の設置などの業務と並行して捕獲技術の修得に励んでいます。



追跡調査中



罠設置中

## 財団からのお知らせ

### 【第7期奨学生（2023年度）募集のお知らせ】

自分の夢を将来につなげる人材の育成を目的とし、今年度も奨学生の募集を開始いたします。申込期間は2023年9月30日（土）迄です。詳細に関しましては当財団HPをご覧ください。

美しい言葉

No. 8

## 雲高気静

くもたかく きしづかなり（魏・曹植）



雲が高く浮かんでいます。空気は心行くまで澄んで、物悲しい程であるの謂です。清らかに澄んだ秋の情景です。



公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局：丹治・田村

〒104-0045 東京都中央区築地6-25-10 築地センタービル4階

TEL：03-6281-5140 FAX：03-6281-5141 URL：<https://www.kurosfound.or.jp/>

月曜～金曜 午前9時～午後6時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

